

令和 5 年 10 月 理事会報告

広報-HP,生涯教育,食育推進,在宅医療-介護,スポーツ栄養・JDA-DAT 委員会

日時	9 月 9 日 (土) 時間: 10 : 00 ~ 11 : 30	場所	愛知県栄養士会事務室、オンライン
出席者	酒井、高橋、田中、影山、水田、吉田、(事務局:永戸)		
協議事項 及び 決定事項	<p>1. 2023 年度 生涯基本研修会の目的と委員の役割</p> <p>(1) 生涯教育基本研修会の目的の確認 管理栄養士・栄養士の専門業務の見直しとその評価のための課題に取り組み、実践研究法の基本を修得する過程を通して、課題解決に向けたエビデンスに基づく検討を行い、その成果を実践報告会において公表することとする。</p> <p>(2) 生涯教育委員の役割 研修会の開催に伴う業務を行うとともに、実践研究の研修にも参加し、部会別演習の活性化のために、場合によってはファシリテータや記録担当等の役割もする。</p> <p>2. 2023 年度第 1 回研修会 (2023 年 7 月 15 日終了) の振り返り</p> <p>(1) 基調講演と演習の時間配分と内容 本年度は、演習を充実させるため基調講演は 30 分と短時間となっているが、演習時間に補足説明を行うことにより新規参加者にも実践研究の理論の理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 第 2 回に向けた改善点 研修後のアンケート調査は質問(5)その他の開催方式、時間配分、進行方法、会場は削除し、自由記述を設けることとする。</p> <p>3. 2023 年度第 2 回研修会の内容とタイムテーブル及び役割分担 第 2 回研修会のプログラムは、基調講演 30 分、演習 (統計の使い方の基本演習) 90 分、振り返り (各部会報告および意見交換 40 分)、講師総評 10 分とする。</p> <p>4. その他</p> <p>(1) 第 2 回生涯教育基本研修会の会場が変更になるので、参加者に会場資料 (交通案内、会場図面等) を連絡する。</p> <p>(2) 第 2 回から研修会に参加希望者には 3 回分 4500 円を納金の上、参加を許可する。</p> <p>(3) 2023 年度実践報告会について、生涯教育基本研修の各部会からの演題数は少なくなるので、学術部においてプログラムの再検討が必要となる。</p>		
理事会での 検討事項	生涯教育基本研修の状況を踏まえた 2023 年度実践報告会の開催要項の再検討を行う。		
今後の 検討事項	演習内容は①実践研究に関するスキルの習得、②各部会で取り上げた課題の検討を行っているが②の時間が短いために Homework となる。プログラム構成について再検討する。		
委員会の 課題	2023 年度は昨年度の参加者の継続を想定してプログラムを検討したが、新規参加者が多いことを踏まえて、次年度の計画を立てることが必要である。		

令和5年度事業報告書

事業担当部署 生涯教育委員会

報告者 酒井映子

事業区分	公益 3		
事業名称	愛知県栄養士会 第1回生涯教育基本研修(演習)		
事業概要	目的	管理栄養士・栄養士の資質向上のため、専門業務の見直しと改善のための手法(実践研究)を習得する。 本年度は昨年の研修内容を継続して行い、各職域部会で取り上げた課題への取り組みにより専門業務の評価と改善への方策について検証する。	
	内容	日時	第1回:令和5年7月22日(土)(7月、9月、11月の3回シリーズ)
		場所	ウインクあいち1003室(対面開催)
		対象及び参加予定数	会員約50名(各職域7名前後)昨年参加者(約30名)は原則継続
	内容のプログラム等	各回:基調講演、グループワーキング、全体討論(各グループからの報告と質疑応答)、振り返り(講師の総評、各回の職域グループ別課題に関するHomeworkの説明、諸連絡等)	
結果と成果	参加者	愛知県栄養士会員20名 スタッフ6名 事務局1名	
結果と成果	結果概要等	1.基調講演(30分):テーマ「抄読のすすめ方～先行研究の検索と選定」講師:名古屋文理大学 後藤千穂先生 講演内容は前年度の基調講演を踏まえて、実践研究の流れにおけるリサーチクエスションの重要性と先行研究の抄読との関連、エビデンスと検索方法等について、農林水産省の「食育」と「共食」の事例を紹介した分かり易い内容であり、実践研究を正しく理解し、活用するための知識を深めるものであった。2. 職域部会別演習(90分):①部会グループ(医療、福祉、健康教育、公衆、勤労、研教・地活)に本年度、取り上げる課題についてディスカッションを行った。課題を継続するグループと新たな課題を取り上げるグループがともにファシリテーターの進行のもとで真剣で熱心な話し合いが行われた。②後藤先生の指導により、検索データベースの紹介と実際に各職域部会の課題に関する文献検索を行った。3. 全体の学び合い(40分):職域部会別に本年度、取り上げる課題の説明と質疑応答が行われ、講師の後藤先生、第2回講師の北森先生、第3回講師の三田先生も加わって、活発な意見交換が行われた。4. 講師による講評および次回までのHomeworkの説明:後藤先生より本日の研修内容の要点のまとめが行われた。Homeworkはテーマに関する抄読内容を「エビデンステーブル研究結果の一覧」を参考にしてまとめてくることとした。本年度は参加者が20名と計画よりも少なく、継続参加者は約1/3であったが、職域部会別に課題のすすめ方に関する研修を行う目途がつけられた。	

		収入金額	支出金額	残額
当初予算	令和5年度予算	193,500	193,500	0
当年度実績	第1回目研修等 実績	94,500	76,770	17,730
	第2回目研修等 実績			
	第3回目研修等 実績			

予算	収入	科目	金額	積算基礎	
		事業収入	180,000	愛知県会員 参加費 1回 ¥1,500円 × 3回 × 40名	
			6,000	他県栄養士会員 参加費 1回 ¥2,000 × 3回 × 1名	
		7,500	非会員 参加費 1回 ¥2,500 × 3回 × 1名		
	計		193,500		
支出	計	講師謝礼金	75,000	講師料(@ ¥25,000 × 3名)	
		旅費交通費	18,000	委員の交通費(@ ¥1000- × 6名 × 3回を想定)	
		通信運搬費	252	依頼文郵送費	
		事業運営費	84,000	会場費(ウインクあいち会議室 ¥14,000 × 2室 × 3回)	
		"	16,248	マイク等備品借用、消毒用アルコール、講師お茶、消耗品等	
計		193,500			
決算	収入	事業収入	81,000	愛知県会員参加費 4,500(3回セット) × 18名(Pay vent)	
			18,000	愛知県会員参加費 4,500円(3回セット) × 4名(現金)	
			4,500	返金1名(前田千裕)	
	計		94,500		
	支出	計	講師謝礼金	25,000	講師料
			旅費交通費	4,320	委員交通費(7名)
			通信運搬費	3,540	荷物搬送タクシー代(ウインクあいち⇄事務所)
			事業運営費	38,900	会場費(ウインクあいち会議室)
				4,860	Pay vent手数料
				150	Pay vent銀行振込手数料
計		76,770			

令和5年度事業報告書

事業担当部署 生涯教育委員会 報告者 酒井映子

事業区分	公益 3						
事業名称	愛知県栄養士会 第2回生涯教育基本研修(演習)						
事業概要	目的	管理栄養士・栄養士の資質向上のため、専門業務の見直しと改善のための手法(実践研究)を習得する。 本年度は昨年の研修内容を継続して行い、各職域部会で取り上げた課題への取り組みにより専門業務の評価と改善への方策について検証する。					
	内容	日 時	第2回: 令和5年9月30日(土)(7月、9月、11月の3回シリーズ)				
		場 所	借行会城西病院内会議室				
		対象及び参加予定数	会員約50名(各職域7名前後)昨年参加者(約30名)は原則継続				
		内容のプログラム等	各回: 基調講演、グループワーキング、全体討論(各部会の報告と質疑応答、テーマに関する意見交換)、振り返り(Homeworkの説明、諸連絡等)				
	結果と成果	参加者	愛知県栄養士会員17名 スタッフ6名 事務局1名				
		結果概要等	1.基調講演(50分): テーマ「データ解析方法」講師: 金城学院大学 北森一哉先生。講演内容は、まず、実践研究をすすめるために、現状を把握し、評価をするための手段としての統計解析の意義、何をどのようにどこまで明らかにするかが根幹となること、続いて、データの種類と統計解析の概要および代表的な検定について参加者に分かり易いように事例を用いて丁寧な講義が行われた。2. 職域部会別演習(110分): 演習①は「事例に基づいて統計データに関するExcellによる模擬演習」についてパソコンを使用した例題3題(χ ² 検定、t検定、相関)を各自で解く内容であった。統計結果の図の作成まで実施したため、演習時間は延長したが、各自で統計解析の使い方が納得できる演習となった。演習②は各職域部会で取り上げた課題の進捗状況および実践報告会での発表に向けた今後のすすめ方等について話し合いを行った。研修会の時間内で課題の検討をすすめる時間が無いため、Homeworkの打ち合わせとなった部会が多い状況であった。3. 全体の学び合い(50分)①各職域部会からの報告: お互いの課題の検討内容を共有することによって、幅広く他分野の専門業務を理解するために行っている。②全体討論: 事前に話題提供をした4例の中から討議のテーマ「COVID-19後の新しい食生活の変化に対応した管理栄養士・栄養士に必要とされる専門業務とは何か?~5年後の管理栄養士・栄養士の状況を見据えて~」と決定し、意見交換を行った。立場の違いによる様々な意見の共有でき、今後の職場で生きる有意義な討論であった。本年度は特に実践研究における実技面の向上を目的としており、演習と討論では対面式の良さを活かした研修会となった。				
		収入金額	193,500	支出金額	193,500		
		当初予算	令和5年度予算	193,500	193,500	残額	0
		当年度実績	第1回目研修等 実績	94,500	76,770	17,730	
第2回目研修等 実績			0	29,500	-11,770		
第3回目研修等 実績							
予算	収入	科目	金額	積算基礎			
		事業収入	180,000	愛知県会員 参加費 1回 ¥1,500円 × 3回 × 40名			
			6,000	他県栄養士会員 参加費 1回 ¥2,000 × 3回 × 1名			
		7,500	非会員 参加費 1回 ¥2,500 × 3回 × 1名				
	計	193,500					
	支出	講師謝礼金	75,000	講師料(@ ¥25,000 × 3名)			
旅費交通費		18,000	委員の交通費(@ ¥1000- × 6名 × 3回を想定)				
通信運搬費		252	依頼文郵送費				
事業運営費		84,000	会場費(ウインクあいち会議室 ¥14,000 × 2室 × 3回)				
〃	16,248	マイク等備品借用、消毒用アルコール、講師お茶、消耗品等					
計	193,500						
決算	収入	事業収入	0				
		計	0				
	支出	講師謝礼金	25,000	講師料			
		旅費交通費	4,500	委員交通費(6名)			
計	29,500						